

◎小学生の部

その他の良い作品

ぼくのランドセル

手子林小学校 六年

猪股 一磨

「ぼくこれがいい！」
入学する前にピカピカのランドセルを買って
もらった
最初は大きくて背負うのも一苦労だった
教科書とノートを入れてすごく重かった
だけど六年生になった今、簡単に背負うこと
ができる
ジャンプだってできるし、走りまわることも
できる
そしてランドセルとは友達のようにたくさん
の思い出ができた
春、桜がさいている通学路を通り校門を一緒
にくぐる

夏、セミの鳴き声が聞こえる通学路を汗を
ダラダラ流し一緒に歩く
秋、お米が実っている田んぼ
気持ちよい風の中、一緒に歩く
冬、冷たい風で自分の顔も手も、ランドセル
も冷たくなる
他にも先生にほめられているとき、おこられ
ているとき、ランドセルはロッカーで見ている
授業の発表や集会、司会できんちようしている
ときも見ている
いつだって友達のように一緒だ
毎日背負った友達のランドセル
ぼくも成長したけどランドセルだってうんと
成長している
卒業までもう少し
ランドセル、それまで一緒にいてね

きゆうちゃんづけ

須影小学校 四年

梅澤 幸杏

夏になるとじいちゃんの畑に
たくさんのきゆうりができる
ツヤツヤきゆうりだ

きゆうりを切るのは、毎年わたしの仕事
多い時は四キロも切ることもある

きゆうりをわ切りにすると

きゆうり山ができる

だんだん切っていくと

わたしのは、シワシワになってくる

つぎは、おなべのお風呂に

さとう、しょうゆ、みりん、す、しょうが、

たかのつめを入れて

グツグツに立てる

「きゆうりさん、お風呂ができました。」

「やったー」ととびこんでいくきゆうりさん。

「あついあつい」といったところで

火をとめてひと休み
だんだん緑の体が茶色にへんしん
あたためてさましてをくり返すと
しょうゆさんとさとうさん達の味くらべ

ポリポリと味見はやっぱり

わたしの仕事

きゆうちゃんづけは

あさごはん、ひるごはん、おやつ

おつまみ、よるごはんに登場する

あつという間にすがたを消す

きゆうちゃんづけは

お母さんに教えてもらった味

お母さんはおばあちゃんに教えてもらった味

でんとうの味

わたしもいつか教えるのかな

ごせんぞ様とぼく

手子林小学校

三年

佐藤

雪州

「チンチーン」
おばあちゃんちのぶつだんの前
ぼくは目をとじて手を合わせる
しずかに目をあける
お線こうのひいおじいちゃんには二まいのしや真
ぼくのひいおじいちゃん
ひいおばあちゃんだ
ぼくは、一度も会ったことがない
でも一年に一度だけ
会える日がある
おぼん様はごせんぞ様が家に帰ってくる日
だからおぼんの間だけは
二人に会えるのだ
今年もおぼん様がやってくる
ぶつだんにはささやほおずき
たんざくのかざりつけ
ぼくもちよつとお手つだい
なすの牛きゆうりの馬
ぼくはまだ上手に作れない

ぼくには見えない
ひいおじいちゃん
とひいおばあちゃんには
ぼくが見えるのかな
ぼくは三年生になったよ
べん強も運動もがんばっているよ
大すきな絵で
しようじようをもらったよ
ぼくには見えない
だけどなんだか
ひいおじいちゃん
とひいおばあちゃんが
すぐそばにいるよ
うな気がした
また来年会える日まで
ぼくががんばるからね

空手道

須影小学校 四年

澤田 俊輝

六才から始めた空手
きっかけは、テレビのワンシーン
道場に見学に行き入門

「おす。」

大きなかけ声をかけ、けいこすること四年

夏は、むし風呂のような体育館

あせは、たきのように流れ落ちる

冬は、氷のようなゆかの体育館

足は、真っ赤なしもやけ

きびしい練まの中から人かく形成を図る

日本で生まれた伝とうぶ道

「礼に始まり、礼に終わる」

礼は、人に対して、感しやの気持ち

物に対して、感しやの気持ち

試合で礼をわすれると失かくなる

試合は相手がいて成立つ

相手をうやまい礼をすることは大切なこと

空手道の理念にもとづき

大好きな空手をやるために

今日も道場に足をはこぶ

かえるみちのかえるくん

新郷第一小学校 一年

関根 璃空

七がつ。
ぼくは、いつもどおり
みわたすかぎりの
たんぼだらけのみちを
とおってかえったよ。
グオツ グオツ グオツ
ケロツ ケロツ ケロツ
いろいろな、ところから
かえるぼくのすがたを
みているかえるくんがいるよ。
でも、ぼくには
かえるくんたちがみえないよ。
あつてみたいと、おもったよ。
ついた。
いえのげんかんまえ。
あつてみたかったかえるくんが
とびらやじめんに
たくさん、たくさんいたよ。

グオツとも
ケロツとも
いわないで、じつとぼくを
みているよ。
ぼくは、ゾワゾワして
ゲツとおもったよ。
おねがい。
ぼくは、いえにかえるから、
かえるくんたちも
おうちにかえつてと
おもったよ。

ふるさと

手子林小学校 四年

高橋 和泉

私が生まれた「羽生」では、大きな夏祭りがある
三百九十年の伝とうがある
毎年たくさんの人や屋台が並んでいる
十一基のみこしと、二台の山車が会場をもち
上げる

これは、市の指定文化財に認定されている
「てんのうさま」のお祭りとして、広く市民
に親しまれている羽生の夏祭り

もとは、八雲神社の例大祭

人々の無病息災を祈願している

その翌日に市内小学校の希望者が会場となつ
た区域を清掃していることを知った

私は、心を打たれた

自分がよごしていなくても羽生市のために

きれいにしようと、自らやることは、すばらしい

「こころ」はだれにも見えないけれど「ここ
ろづかい」は見える

「思い」は見えないけれど「思いやり」は

だれにでも見える

宮澤章二さんの言葉だ

「こころ」や「思い」は、見えない。「こころ

づかい」や「思いやり」で、相手に気持ちを

伝える

そんなふうになりたい

これからも誰もが幸せを感じる事ができる

この町に、住み続けたいと思う

いってきます おじいちゃん

井泉小学校 二年

塚田 美心

わたしのいえのちかくには、おじいちゃんがすんでいる。まい朝、学校に行く時、「いってらっしゃい。」と、言っておで手をふつてくれる。わたしは、はずかしくて、いつもこしのあたりで小さく手をふる。

ある日、今日もあのかどをまがるとおじいちゃんがいるんだろうな、と思っていると、おじいちゃんはいなかった。おじいちゃんのいえのもんもしまっている。どうしたんだろう。わたしは、心配しながら、しょんぼりと学校へ行った。

いえにかえってすぐ、お母さんに、「おじいちゃん、朝、いなかったよ。」と、言った。すると、お母さんが、「入

いんしたのよ。」と、教えてくれた。

それからしばらく、おじいちゃんに会えなかった。まい朝おじいちゃんに、いってらっしゃいと

言われて、はずかしかったけれど、今は、すこしきみしい。

すこしたって、おじいちゃんがたいいんした。また、まい朝、いってらっしゃいを言ってもらえる、と思うとうれしくなった。

つぎの日の朝、わくわくしながらいえを出た。あのかどをまがると、おじいちゃんに会える。

「いってらっしゃい。」

ひさしぶりに、おじいちゃんの声が聞こえてうれしくなった。わたしは、すこしはずかしかつたけれど、大きく手をふつて、

「いってきます、おじいちゃん。」と、えがおで言った。

ふるさと

手子林小学校 一年

野本 望乃

「ふるさと」ってなんだろう？

いちねんせいのおたしはまだ知らない

ばあちゃんにきいてみた

ばあちゃんは

「かぞくがいて、いつでもかえってこれるば

しよ、パパもここがふるさとだよ」

っておしえてくれた

はるには、もぐら

なつのはじめには、かえる

なつには、せみ

あきには、すずむし

ふゆには、おおかぜ

いまいるここが「ふるさと」なんだね

かえるのなきごえやかぜのおとで

ねむれないよもあるけれど、

パパの「ふるさと」もここだっけしたら

なんだかみんなのしくきこえてきたよ

おとなになったとき、
わたしはどこにいるのかな？

どこにいてもいつでもここに

かえってきいていいんだね

そしたら、

じいちゃん、ばあちゃん、パパ、ママ、

もぐらやかえる、せみ、すずむし

それにおおかぜが

「おかえり」

っていつてくれるんだね

ふるさとってすごいね

げんき百ばいだ

わたしの「ふるさと」

ここでよかったな

利根川サイクリングロード

井泉小学校 三年

諸星 斗真

やっと太陽がかたむいた
すずしくなるのをまっていたぼく
やつとのおもいでたびにでる
今日もお父さんといっしょに
利根川の土手をめざす

カシヤカシヤカシヤ
ひっしにこぐペダルの音
あせをたくさんかきながら
やつと土手を登りきる
すずしい風とはいえないが
なによりもこのけしきに心がなごむ

ここからは、利根川サイクリングロード
お父さんと二列になって
たくさん話しながらペダルをこぐ
トンボが、かわるがわるおいかけてくる
まるで、ぼくとリレーをしているようだ

カラスまでついてくる
カーカー歌いながら
つばめもスイスイ近くをとびまわる
利根川も、まるで生きているかのよう
キラキラとなみをうっている

どのぐらいたっただろうか
白い月と赤い雲は
ぼくに帰る時こくをおしえてくれる
帰りぎわに土手から見るとけしき
いつもとおなじまちなのに
どこかいつもとちがう気がした
こんなきれいな町
ぼくのすんでいる羽生に感動してしま
車で走っていたら気づけない
家でテレビを見ていても気づけない
このすばらしいけしきをあじわってほ
あせをかきかき見わたすけしき
土手からのながめ
楽しくないわけがない